ジャンル
旅エッセイ

寿郎社の新刊案内

〒060-0807　札幌市北区北七条西2丁目37山京ビル
電話011-708-8565　FAX011-708-8566
メール：info@jurousha.com　サイト：www.jurousha.com

日本からいちばん遠いどこかへ――。スマホもインターネットもなかった時代、「寄り道」と「迷子」に明け暮れた、ある高校教師の「コスパ」の悪い、しかし「刺激」に満ちたアジア旅の記録。

渡り鳥を夢見たカラス

アジア旅の断章21

2026年
4月上旬刊

茂呂芳年
MORO Yoshitoshi

四六判並製　204頁（予定）
定価：本体1800円＋税（税込1980円）
ISBN978-4-909281-74-6　C0095

主な内容

まえがき――イスタンブルの歌声

1　夜間長距離バス――トルコ、一九八六年
2　袖振り合うも――インド、一九八九年
3　ベツレヘム――パレスチナ、一九八六年
4　マダムPのTシャツ――タイ、一九九九年
5　暗くて温かい宿――トルコ、一九八六年
6　イランのこぶとり兄さん――イラン、一九八六年
7　印度カレー屋のBGM――インド、一九八九年
8　珊瑚の風鈴――琉球、二〇〇五年
9　墓碑銘――エジプト、一九八六年
10　九龍城砦――香港、一九八九年
11　チベットの石――チベット、一九九七年
12　バスを待つ――ウイグル、二〇〇三年
13　砂漠の水――ウイグル、二〇〇三年
14　オアシス幻想――エジプト、一九八六年
15　碧い瞳――トルコ、一九八六年
16　夏の玉虫、冬の蝶――ラオス、一九九九年
17　足裏の地獄――シリア、一九八六年／琉球
18　羅刹女と神猿の末裔たち――チベット、一九九七年
19　『ザ・ビーチ』あるいは「桃源郷」のこと――ラオス、一九九九年
20　旅の終わりの風景――パキスタン、一九八六年
21　宮古島の夢――琉球、二〇〇八年

あとがき――コスパの悪さが「国際標準」だった時代

茂呂芳年（もろ・よしとし）
1961年、北海道苫小牧市生まれ。静岡大学人文学部西洋史学科卒業。札幌南陵高等学校を振出しに、十勝・胆振地方の高校で社会科、主に地歴科教諭として勤務した。

＊本書は地方小扱いですので一部の書店を除き新刊配本はありません。必ず事前のご予約（ご注文）をお願いします。

寿郎社FAX011-708-8566まで

〔注文短冊〕

地方小出版流通センター取扱品

書店名（番線）

御担当者名

発行所	編著者名	本体価格（税抜）	発注日
寿郎社	茂呂芳年 著	1800円	月　日

①注文数　冊

書名　渡り鳥を夢見たカラス　アジア旅の断章21

ISBN978-4-909281-74-6

個人注文票　個人が注文する場合は①冊数②お名前③郵便番号／ご住所④電話番号をここに書き、書店にお持ちいただくか寿郎社までFAXかメール［info@jurousha.com］でお送りください。寿郎社にご注文いただいた場合は1冊300円の送料がかかります。

②お名前

③郵便番号／ご住所 □□□-□□□□

④電話番号　（　　）